

## 2.2.2 イヌワシ

平成 23 年 10 月～平成 24 年 8 月の調査の視野範囲、累積観察時間を調査回ごとに整理した。

イヌワシの記録位置は、個体別（つがい別、年齢別・性別）に飛跡を色分けし、調査回ごとに整理した。

### (1) 平成 23 年 10 月調査

平成 23 年 10 月の視野範囲を図 2.2.2-1 に、累積観察時間を図 2.2.2-2 に、イヌワシの記録位置を図 2.2.2-3 に示す。イヌワシの確認記録（平成 23 年 10 月 18～21 日）を表 2.2.2-1 に示す。

- ・ イヌワシの[ ]営巣地から離れた区域（長野原町[ ]付近）で、イヌワシ成鳥の単独飛翔が確認された。[ ]営巣地付近での出現や繁殖行動の確認はなかった。
- ・ 確認されたイヌワシの個体特徴より、平成 23 年 2 月に出現した[ ]つがいの雄の可能性が高いことが確認された。

表 2.2.2-1 イヌワシの確認記録（平成 23 年 10 月 18～21 日）

| 調査実施日     | 調査結果の概要       |
|-----------|---------------|
| 10 月 18 日 | ・ 確認なし        |
| 10 月 19 日 | ・ 確認なし        |
| 10 月 20 日 | ・ 確認なし        |
| 10 月 21 日 | ・ 成鳥の飛翔、林内に入る |

### (2) 平成 23 年 12 月調査

平成 23 年 12 月の視野範囲を図 2.2.2-4、累積観察時間を図 2.2.2-5、イヌワシの記録位置を図 2.2.2-6 に示す。イヌワシの確認記録（平成 23 年 12 月 13～16 日）を表 2.2.2-2 に示す。

- ・ イヌワシ[ ]つがいの雄（推定）が[ ]営巣地の D 巣にとまり、D 巣の巣材を整理する行動が確認された。
- ・ D 巣近くの稜線上の口立つ枯れ木で、[ ]つがいの雄のとまりが確認された。D 巣近くの稜線上の口立つ枯れ木は、平成 23 年 2～4 月に[ ]つがいが 2 羽で交尾等のとまりが複数回確認された木と同じ木であり、主要な止まり場所となっていることが確認された。
- ・ [ ] [ ]営巣地の南西側）で、[ ]つがいの雄の波状ディスプレイが確認された。

表 2.2.2-2 イヌワシの確認記録（平成23年12月13～16日）

| 調査実施日  | 個体       | 年齢 | 調査結果の概要                                                            |
|--------|----------|----|--------------------------------------------------------------------|
| 12月13日 | ■■■■つがい雌 | 若鳥 | 飛翔（そのうが膨らむ。獲物を食べた直後）                                               |
|        | ■■■■つがい雄 | 成鳥 | D 巣近くの稜線上の目立つ枯木にとまり<br>（平成23年2～4月に■■■■つがい2羽で交尾等のとまりが複数回確認された木と同じ木） |
| 12月14日 | ■■■■つがい雄 | 成鳥 | D 巣にとまる。D 巣で巣材整理                                                   |
| 12月15日 | ■■■■つがい雌 | 若鳥 | 探餌飛翔                                                               |
| 12月16日 | ■■■■つがい雄 | 成鳥 | ■■■■の稜線で波状ディスプレイを繰り返す                                              |

|                                                                                     |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|   |   |
| イヌワシ若鳥 平成23年12月15日<br>※両翼、尾羽の下面に白斑が目立つ。                                             | イヌワシ若鳥 平成23年12月15日                                                                   |
|  |  |
| イヌワシ若鳥 平成23年12月13日<br>※そのうが膨らんでいることから餌を食べたことがわかる                                    | イヌワシ■■■■つがい雄 平成23年12月13日<br>※D 巣近くの稜線にある目立つ枯木の先端にとまり                                 |

|      |               |                   |                   |
|------|---------------|-------------------|-------------------|
|      |               |                   |                   |
|      |               |                   |                   |
| イヌワシ | つがい雄          | 平成 23 年 12 月 14 日 |                   |
|      | ※D 巣の脇の枯木にとまる |                   |                   |
|      |               | イヌワシの D 巣         | 平成 23 年 12 月 16 日 |

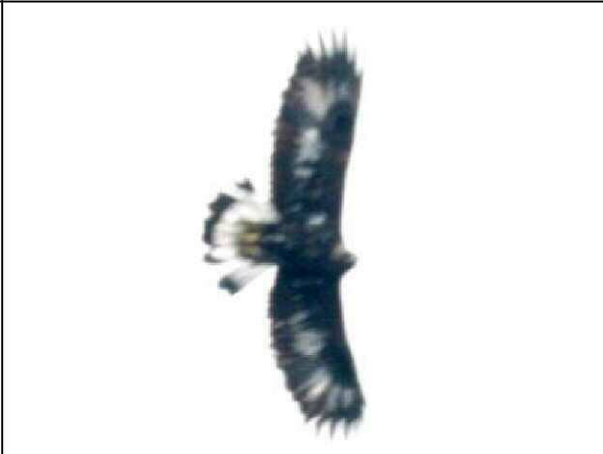
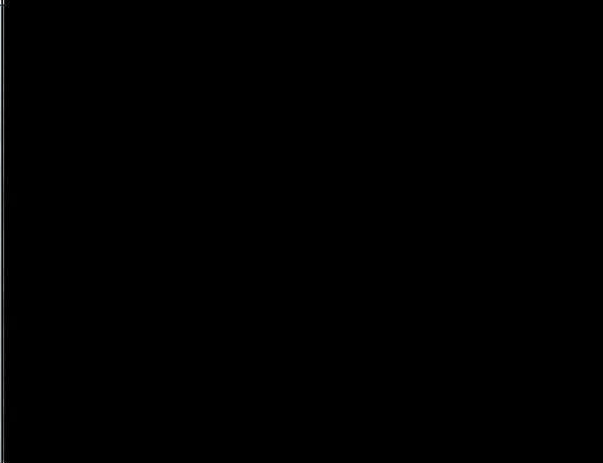
## (3) 平成 24 年 1 月調査

平成 24 年 1 月の視野範囲を図 2.2.2-7 に、累積観察時間を図 2.2.2-8 に、イヌワシの記録位置を図 2.2.2-9 に示す。イヌワシの確認記録（平成 24 年 1 月 17～20 日）を表 2.2.2-3 に示す。

- ・ イヌワシ 〇〇 つがい雄・雌が 〇〇 営巣地の D 巣にとまり、D 巣で造巣行動が確認された。
- ・ D 巣近くの稜線上の目立つ枯れ木（平成 23 年 12 月に雄がとまった木と同じ木）で、〇〇 つがいの 2 羽とまりが確認された。D 巣近くの稜線上の目立つ枯れ木は、平成 23 年 2～4 月に 〇〇 つがいが 2 羽で交尾等のとまりが複数回確認された木と同じ木であり、主要な止まり場所となっていることが確認された。
- ・ 一方、〇〇 の周辺では、〇〇 の東側の岩場で交尾、雄の波状ディスプレイが確認された。交尾が確認された岩場で 2 羽とまりが 2 回確認された。

表 2.2.2-3 イヌワシの確認記録（平成 24 年 1 月 17～20 日）

| 調査実施日    | 個体                 | 調査結果の概要                                                                                             |
|----------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 月 17 日 | 〇〇 つがい雄<br>〇〇 つがい雌 | ・D 巣近くの稜線にある目立つ枯木に <u>2 羽とまり</u> 。<br>・雌が先に飛び立ち 2 羽で飛翔。                                             |
| 1 月 18 日 | 〇〇 つがい雄<br>〇〇 つがい雌 | ・2 羽で <u>D 巣に出入り、D 巣で巣材整理</u> 。<br>・雌が先に飛び立つ。                                                       |
| 1 月 19 日 | 〇〇 つがい雄            | ・〇〇 の東側で <u>波状ディスプレイ</u> を行う。                                                                       |
|          | 〇〇 つがい雄<br>〇〇 つがい雌 | ・〇〇 の東側の岩場にとまり、 <u>交尾</u> を行う。<br>・2 羽で飛翔。〇〇 の北側で <u>ハヤブサに攻撃</u> する。<br>・〇〇 の東側の岩場に <u>2 羽とまり</u> 。 |
| 1 月 20 日 | —                  | ・出現なし                                                                                               |

|                                                                                     |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |
| <p>イヌワシ成鳥 ■■■ つがい雄 平成 24 年 1 月 17 日</p>                                             | <p>イヌワシ成鳥 ■■■ つがい雄 平成 24 年 1 月 17 日</p>                                              |
|   |   |
| <p>イヌワシ若鳥 ■■■ つがい雌 平成 24 年 1 月 19 日<br/>※両翼、尾羽の下面に白斑が目立つ。</p>                       | <p>イヌワシ若鳥 ■■■ つがい雌 平成 24 年 1 月 19 日</p>                                              |
|  |  |
| <p>■■■ つがい 2 羽とまり(上:雄、下:雌)<br/>※D 巣近くの稜線にある目立つ枯木に 2 羽とまり<br/>平成 24 年 1 月 17 日</p>   | <p>交尾した岩場(左:雄、右:雌)<br/>※■■■の東側 ■■■上流の岩場<br/>平成 24 年 1 月 19 日</p>                     |







イヌワシ成鳥 ■■■ つがい雄 平成 24 年 2 月 8 日



イヌワシ若鳥 ■■■ つがい雌 平成 24 年 2 月 9 日  
※両翼、尾羽の下面に白斑が目立つが換羽が進行している。



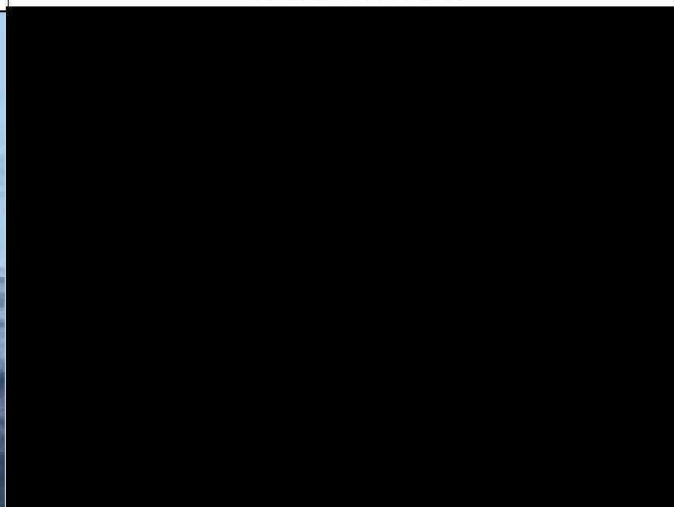
イヌワシ ■■■ つがい雄(上) 雌(下)  
平成 24 年 2 月 9 日



イヌワシ ■■■ つがい雄(右) 雌(左)  
平成 24 年 2 月 9 日



■■■ つがい 2 羽とまり  
※D 巣近くの稜線にある目立つ枯木(交尾を確認)  
平成 24 年 2 月 8 日



■■■ 営巣地 D 巣に 2 羽で入る  
平成 24 年 2 月 8 日

## (5) 平成 24 年 3 月調査

平成 24 年 3 月の視野範囲を図 2.2.2-13に、累積観察時間を図 2.2.2-14に、イヌワシの記録位置を図 2.2.2-15に示す。イヌワシの確認記録（平成 24 年 2 月 7～10 日）を表 2.2.2-5 に示す。

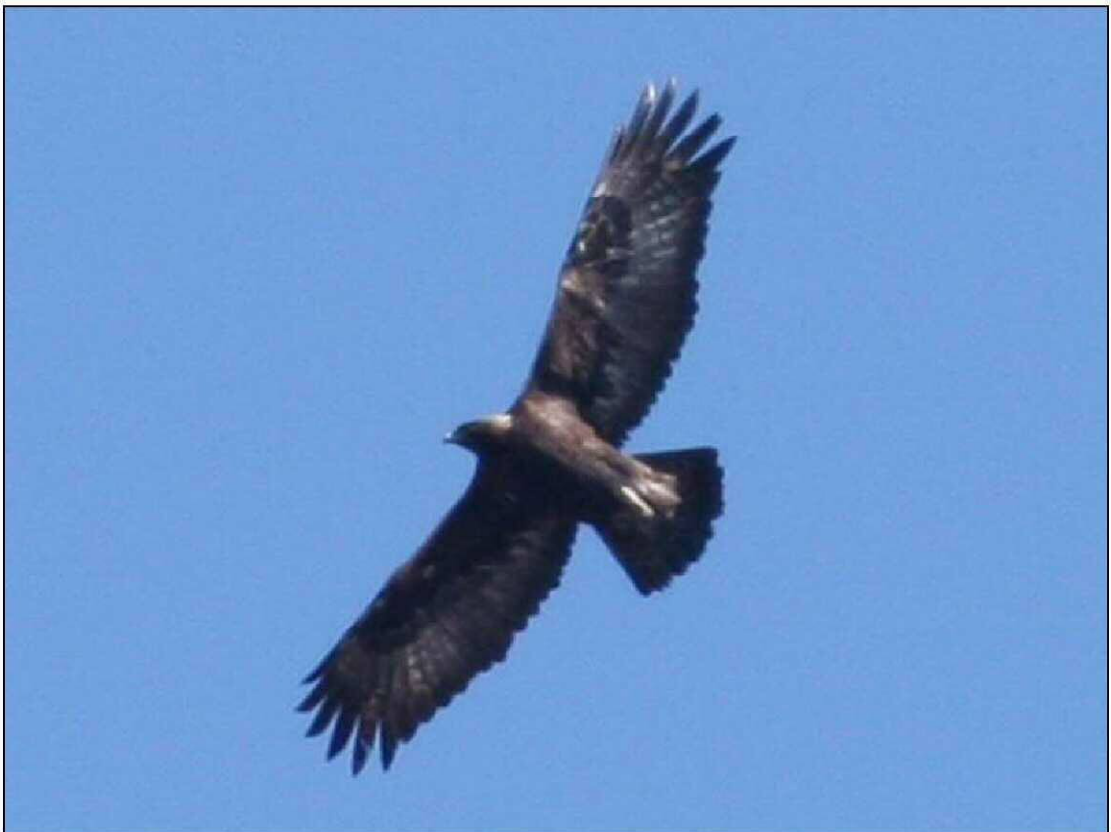
- ・ 交尾 2 回、2 羽とまり 2 回、雄の波状ディスプレイが確認された。
- ・ 平成 24 年 3 月の調査では、イヌワシつがいの産卵は確認されなかった（一般的なイヌワシの生活サイクルでは、イヌワシの産卵期は 1～2 月である）。
- ・ 2 月の調査では D 巣の出入り、巣材運び、造巣行動が確認される等、活発な繁殖行動が確認されていた。しかし、3 月の調査では D 巣の出入りは確認されなかった。平成 24 年 2 月の調査結果と比較すると、今回の 3 月の調査結果では、繁殖に関する行動の確認回数が減少した。
- ・ 以上より、平成 24 年度繁殖シーズン、イヌワシは繁殖活動は行ったが、産卵には至らなかったことが確認された。



イヌワシつがい 2 羽とまり  
(平成 24 年 3 月 13 日)

表 2.2.2-5 イヌワシの確認記録（平成 24 年 3 月 13～16 日）

| 調査実施日    | <del> </del> つがい<br>性別 | 確認された主な繁殖行動（回数） |    |      |    |        |          |
|----------|------------------------|-----------------|----|------|----|--------|----------|
|          |                        | D 巣の出入り         | 造巣 | 巣材運び | 交尾 | 2 羽とまり | 波状ディスプレイ |
| 3 月 13 日 | 雄                      | 0               | 0  | 0    | 1  | 1      | 0        |
|          | 雌                      | 0               | 0  | 0    | 1  | 1      | 0        |
| 3 月 14 日 | 雄                      | 0               | 0  | 0    | 1  | 1      | 1        |
|          | 雌                      | 0               | 0  | 0    | 1  | 1      | 0        |
| 3 月 15 日 | 雄                      | 0               | 0  | 0    | 0  | 0      | 0        |
|          | 雌                      | 0               | 0  | 0    | 0  | 0      | 0        |
| 3 月 16 日 | 雄                      | 0               | 0  | 0    | 0  | 0      | 0        |
|          | 雌                      | 0               | 0  | 0    | 0  | 0      | 0        |
| 計        |                        | 0               | 0  | 0    | 2  | 2      | 1        |



イヌワシ ■■■がいに雄 平成 24 年 3 月 14 日



イヌワシ ■■■がいに雌 平成 24 年 3 月 16 日

※両翼、尾羽の下面に白斑が目立つが換羽が進行。



## (6) 平成 24 年 4 月調査

平成 24 年 4 月の視野範囲を図 2.2.2-16、累積観察時間を図 2.2.2-17に、イヌワシの記録位置を図 2.2.2-18に示す。イヌワシの確認記録（平成 24 年 4 月 10～13 日）を表 2.2.2-6に示す。

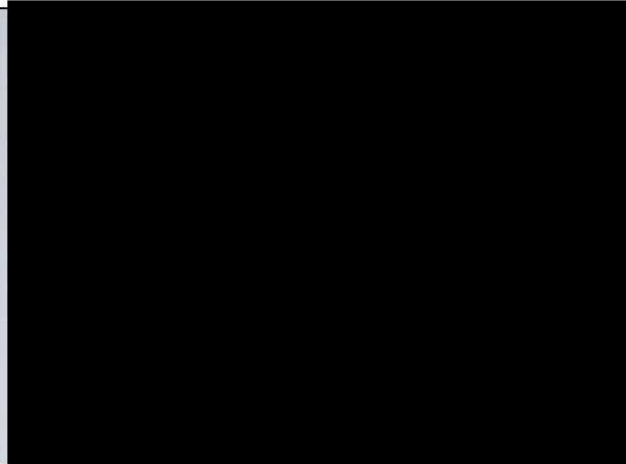
- ・ イヌワシ■■■■つがいの産卵は確認されなかった。
- ・ ■■■■つがいは主に■■■■から■■■■までの地域に集中して飛翔が確認された。主な行動として、2羽とまり、雄の探餌飛翔1回が確認された。
- ・ 雄の探餌飛翔については、雄が狩り場試験地の上空に差ししかかったと同時に下方を観察しながら飛翔し、狩り場試験地を通過後に下方観察を止める行動が観察された（狩り行動の確認はなかったものの、■■■■つがいがこの場所を狩り場として認識しているものと考えられる）。

表 2.2.2-6 イヌワシの確認記録（平成 24 年 4 月 10～13 日）

| 調査実施日    | ■■■■つがい<br>性別 | 確認された主な繁殖行動（回数） |    |      |    |           |              |
|----------|---------------|-----------------|----|------|----|-----------|--------------|
|          |               | D 巣の出入り         | 造巢 | 巣材運び | 交尾 | 2羽<br>とまり | 波状<br>ディスプレイ |
| 4 月 10 日 | 雄             | 0               | 0  | 0    | 0  | 0         | 1            |
|          | 雌             | 0               | 0  | 0    | 0  | 0         | 0            |
| 4 月 11 日 | 雄             | 0               | 0  | 0    | 0  | 0         | 0            |
|          | 雌             | 0               | 0  | 0    | 0  | 0         | 0            |
| 4 月 12 日 | 雄             | 0               | 0  | 0    | 0  | 1         | 0            |
|          | 雌             | 0               | 0  | 0    | 0  | 1         | 0            |
| 4 月 13 日 | 雄             | 0               | 0  | 0    | 0  | 1         | 1            |
|          | 雌             | 0               | 0  | 0    | 0  | 1         | 0            |
| 計        |               | 0               | 0  | 0    | 0  | 2         | 2            |



イヌワシ■■■■つがい雄  
（平成 24 年 4 月 10 日）



■■■■営巣地 平成 24 年 4 月 12 日  
※ ■■■■営巣地の北側の地点から、南向きに撮影

(7) 平成24年6月調査

平成24年6月の視野範囲を図2.2.2-19に、累積観察時間を図2.2.2-20に示す。

イヌワシの確認はなかった。一般的にイヌワシは広大な行動圏(21~119km<sup>2</sup>)を持っているおり、繁殖期には営巣地付近に集中して飛翔するが、非繁殖期には営巣地付近に回執することなく、広大な行動圏の中で餌を探しながら飛翔する。今季、産卵しなかったため、平成24年6月は非繁殖期となり、          つがいは広域に飛翔しているものと考えられる(          周辺など)。

なお、          周辺の営巣地(          営巣地)と          周辺の営巣地(          営巣地)を確認したが、イヌワシの幼鳥の確認はなかった。

(8) 平成24年8月調査

平成24年8月の視野範囲を図2.2.2-21に、累積観察時間を図2.2.2-22に示す。

イヌワシ主対象の調査地点の設定なし(クマタカ主対象の調査地点のみ)。

平成24年6月の調査結果に引き続き、イヌワシの確認はなかった。この理由は、前述のとおりである。

(9) イヌワシの調査結果のまとめ

平成23年10月~平成24年8月の視野範囲を図2.2.2-23に、累積観察時間を図2.2.2-24に、イヌワシの記録位置を図2.2.2-25に示す。

平成22~23年繁殖シーズンと同様に、平成23~24年繁殖シーズンも          営巣地のD巣でイヌワシ          つがいの造巣行動が確認された。D巣への出入り、D巣で造巣行動、交尾、2羽とまり、波状ディスプレイ等の繁殖行動が確認されたものの、産卵には至らなかった。

イヌワシの調査結果のまとめを表2.2.2-7に示す。

イヌワシの          つがいの繁殖に関する行動を表2.2.2-8に示す。

表 2.2.2-7 イヌワシの調査結果の概要（平成 23 年 10 月～平成 24 年 8 月）

| 一般的な繁殖サイクル    | 調査実施日                   | 繁殖状況の概要（平成 23～24 年繁殖シーズン）                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               |                         | 【 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> 周辺】                                                                                                           | 【 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> 周辺】                                                                                                                                                                                                                               |
| 求愛期           | 平成 23 年<br>10 月 18～21 日 | ・成鳥が単独飛翔【 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> 営巣地から離れた区域（長野原町 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> 付近）】 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|               | 12 月 13～16 日            | ・雄が D 巣に出入り。D 巣で巣材整理<br>・D 巣近くの稜線上の目立つ枯木にとまり<br>・ <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> の稜線で波状ディスプレイを繰り返す                                             | ・若鳥（ <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> つがい雌の可能性が高い）の単独飛翔<br>・若鳥の探餌飛翔                                                                                                                                                                                                  |
| 造巣期           | 平成 24 年<br>1 月 17～20 日  | ・2 羽で D 巣に出入り、D 巣で巣材整理。<br>・D 巣近くの稜線にある目立つ枯木に 2 羽とまり                                                                                                                                             | ・ <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> の東側の岩場に 2 羽とまり、交尾 1 回<br>・ <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> の東側で波状ディスプレイを行う。<br>・ <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> の北側でハヤブサに攻撃する。 |
| 産卵期～抱卵期       | 2 月 7～10 日              | ・2 羽で D 巣に出入り 10 回、造巣 8 回<br>・雌が D 巣の方向へ巣材運び 1 回<br>・交尾 4 回、2 羽とまり（D 巣近くの稜線上の目立つ枯れ木等）<br>・波状ディスプレイ                                                                                               | ・交尾 2 回、 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> の岩穴に 2 羽で入る<br>・波状ディスプレイ                                                                                                                                                                                                   |
| 抱卵期           | 3 月 13～16 日             | ・交尾 2 回、2 羽とまり（D 巣近くの稜線上の目立つ枯れ木）                                                                                                                                                                 | ・雄の波状ディスプレイ                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|               | 4 月 10～13 日             | ・雄の波状ディスプレイ                                                                                                                                                                                      | ・2 羽とまり<br>・雄の波状ディスプレイ                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 巣内育雛期         | 6 月 12～15 日             | （イヌワシの確認なし）                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 巣外育雛期<br>・家族期 | 8 月 6～9 日               | （イヌワシ主対象の調査地点の設定なし。イヌワシの確認なし）                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

表 2.2.2-8 イヌワシ                    つがいの繁殖に関する行動（平成 23 年 10 月～平成 24 年 8 月）

| 調査実施日 |              | 確認回数    |        |      |    |        |          |
|-------|--------------|---------|--------|------|----|--------|----------|
|       |              | D 巣の出入り | D 巣で造巣 | 巣材運び | 交尾 | 2 羽とまり | 波状ディスプレイ |
| H23   | 10 月 18～21 日 | 0       | 0      | 0    | 0  | 0      | 0        |
|       | 12 月 13～16 日 | 1       | 1      | 0    | 0  | 1      | 1        |
| H24   | 1 月 17～20 日  | 1       | 1      | 0    | 1  | 2      | 1        |
|       | 2 月 7～10 日   | 10      | 8      | 1    | 6  | 8      | 8        |
|       | 3 月 13～16 日  | 0       | 0      | 0    | 2  | 2      | 1        |
|       | 4 月 10～13 日  | 0       | 0      | 0    | 0  | 2      | 2        |
|       | 6 月 12～15 日  | 0       | 0      | 0    | 0  | 0      | 0        |
|       | 8 月 6～9 日    | 0       | 0      | 0    | 0  | 0      | 0        |

(10) 産卵が確認されない要因

平成 23 年 10 月～平成 24 年 8 月の調査の結果、イヌワシ 〇〇〇〇 がつがいの産卵は確認されなかった。以下に、イヌワシ 〇〇〇〇 がつがいが産卵に至らない要因について考察する。

1) 雌が繁殖できる状態に至っていない可能性

〇〇〇〇 がつがいの雌個体は年齢が若く、平成 24 年 3 月時点で 3～4 歳程度と推定できた。

一般的にイヌワシの繁殖開始年齢は 4 歳以上（4～7 歳、平均 4.7 歳）であることから、〇〇〇〇 がつがい雌は繁殖開始年齢に達していなかった可能性が考えられる。



2) 工事との関係

イヌワシの巣と平成 23 年度の工事の位置を図 2.2.2-26に示す。

イヌワシの繁殖に影響を与える範囲（D 巣から 1,200m 以内）の工事については、イヌワシの繁殖が始まる 10 月から工事を一時中断している。したがって、工事の実施により、イヌワシの繁殖に影響を与えたとは考えられず、工事の影響が、〇〇〇〇 がつがい雌の産卵に至らない要因とはならない。

3) まとめ

以上より、平成 24 年繁殖シーズンは、〇〇〇〇 がつがい雌が繁殖できる状態に至っていない未成熟の個体であったため、〇〇〇〇 がつがい雌が産卵に至らなかった可能性が考えられる。



## (11) 〇〇〇〇の営巣地の状況

平成23年2月8日に初めて飛来が確認された現在の〇〇〇〇は、平成23年、平成24年と2年連続で〇〇〇〇営巣地のD巣周辺で交尾を行い、D巣で造巣したことが確認されている。

過去の報告書等から、D巣以外のイヌワシの巣の場所は、〇〇〇〇営巣地に4巣(A、B、C、E巣)、〇〇〇〇営巣地に2巣、〇〇〇〇営巣地に2巣が確認されている。このうち、少なくとも〇〇〇〇営巣地の4巣については、平成15年に巣の点検・補修していることから、営巣できる状態にある。

現在の〇〇〇〇は、これら複数の既存の巣のうち、〇〇〇〇営巣地のD巣を営巣場所(造巣行動を確認)として選択し、繁殖活動を行っていることから、次年度もD巣で営巣する可能性が高いと考えられる。

## (12) イヌワシの繁殖状況の経緯

イヌワシ 〇 がいの繁殖状況の経緯を表 2.2.2-9に示す。

イヌワシ 〇 がいは、平成 7～8 年、10～11 年に 〇 営巣地で繁殖に成功し、雛の巣立ちが確認されている。その後、7 年連続で雛の巣立ちは確認されなかった。平成 18～19 年に雌親が確認されなくなり、平成 19～20 年には雄親も確認されなくなった。

平成 23 年 12 月、〇 営巣地にイヌワシの新しい 〇 がいの出現が確認され、イヌワシの繁殖活動が 9 年ぶりに確認された（平成 22～23 年産卵の確認はなし）。

平成 23～24 年は、交尾、D 巣への出入り等の繁殖活動が確認されたが、産卵には至らなかった。

表 2.2.2-9 イヌワシ 〇 がいの繁殖状況の経緯

| 年        | 繁殖状況 | 営巣地     | 雄(個体記号)  | 雌(個体記号)  |
|----------|------|---------|----------|----------|
| H6 ~ 7   | ×    | 〇 A 巣   | 成鳥 (MM)  | 成鳥 (MF)  |
| H7 ~ 8   | ○    | 〇 B 巣   | 成鳥 (MM)  | 成鳥 (MF)  |
| H8 ~ 9   | ×    | 〇 B 巣   | 成鳥 (MM)  | 成鳥 (MF)  |
| H9 ~ 10  | ×    | 〇 B 巣   | 成鳥 (MM)  | 成鳥 (MF)  |
| H10 ~ 11 | ○    | 〇 C 巣   | 成鳥 (MM1) | 成鳥 (MF1) |
| H11 ~ 12 | ×    | 〇 B/C 巣 | 成鳥 (MM1) | 若鳥 (MF2) |
| H12 ~ 13 | ×    | 〇 B 巣   | 成鳥 (MM1) | 若鳥 (MF2) |
| H13 ~ 14 | ×    | 〇 D/E 巣 | 成鳥 (MM1) | 若鳥 (MF3) |
| H14 ~ 15 | ×    | 〇 F 巣   | 成鳥 (MM1) | 若鳥 (MF3) |
| H15 ~ 16 | ×    | 〇 G 巣   | 成鳥 (MM1) | 若鳥 (MF3) |
| H16 ~ 17 | ×    | 〇 G/H 巣 | 成鳥 (MM1) | 若鳥 (MF3) |
| H17 ~ 18 | ×    | 〇 G 巣   | 成鳥 (MM1) | 若鳥 (MF3) |
| H18 ~ 19 | ×    | —       | 成鳥 (MM1) | 確認なし     |
| H19 ~ 20 | ×    | —       | 確認なし     | 確認なし     |
| H20 ~ 21 | ×    | —       | 確認なし     | 確認なし     |
| H21 ~ 22 | ×    | —       | 確認なし     | 確認なし     |
| H22 ~ 23 | ×    | 〇 D 巣   | 成鳥 (MM2) | 若鳥 (MF4) |
| H23 ~ 24 | ×    | 〇 D 巣   | 成鳥 (MM2) | 若鳥 (MF4) |

注) 1. ○ : 雛の巣立ちを確認。× : 雛の巣立ちは未確認。

2. 個体記号「MF1」の「1」は個体番号を示し、例えば、「MF1」と「MF2」は個体が異なる。ただし、「MM」と「MM1」、「MF」と「MF1」は、同一個体であるかどうかは不明である。